



こうべ森の学校だより

No.74
2017年1・2月号

発行人：こうべ森の学校 編集委員会

発行所：神戸市北区山田町下谷上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel: 078-371-5937 Fax: 078-371-1087

2017年のはじまりです

代表 木下英吉

昨年の月例会は天候に恵まれないこともあって森学の設立から初めて“荒天による月例会中止”もありました。

しかし、全国育樹活動コンクールにおいて最高賞の“農林水産大臣賞”と、兵庫県からは“くすのき賞”を受賞といった喜ばしい出来事もありました。

昨年11月で、森学が設立から13年を迎えましたが、この間の、森への市民の思いと力・伊藤ハム(株)からの支援と協力・神戸市からの場の提供と後方支援といった3者協働による画期的なシステムが実を結び、毎週火・木・土曜日及び月例会で継続してきた活動が評価されたものと受取ります。その根底には会員皆様が常に丁寧な行動を心掛け、活動を続けられてきたことがあると考えます。

月例会や平日の作業地では、そのエリアがすっきりと見渡せるほどとなっていて、ハイカーさんからは「お疲れさまー!! ありがとうー!!」とよく声を掛けていただきます。私達はマンパワーを結集し、チームワークを基に森の保全に携わっています。この観点から、引き続き

“安全”と“コミュニケーション”を重視して、活動を続けていきます。

昨年、ヒヤリ・ハット事例を募集したところ、6件の事例を寄せていただき、その都度森学だよりでも紹介しているところですが、改めて留意するきっかけづくりとなれば幸いです。今一度、基本ルール・安全マニュアル等を振り返り、活動中には手元・周りに目配り・気配りをし、“仲間や周りへの声掛け”も引き続きお願いします。



雪景色のログハウス周辺

私達は森に関わっていることで、移り変わる森の様子や自然が体感でき、徐・間伐材の再利用といった森の恵みも享受し、同じ活動に携わる仲間との繋がりも生まれています。

再度公園の森が、市民に愛され続ける豊かな緑を維持していくためにも、今まで通り楽しみつつ、安全第一の活動を地道に続けていきたいと思います。



1月14日 例会時の集合写真

宮城県の仮設住宅で年末掃除と“ゆりりん愛護会”に支援金贈呈

木下 英吉



災害公営住宅で清掃

少しでも清々しい気持ちで新年を迎えられるように、住民の皆様と話しを交しながら、年末の清掃活動を行いました。



災害公営住宅の外も美しく

聞いていて、2～3人体制で作業にかりました。2部屋ずつを訪問して、作業中・終了後には震災当時や今の様子をうかがいながら活動しました。

○13日(火)午後、名取市箱塚桜団地仮設住宅

こちらでも昨年に続いての訪問で、馴染の方からは「遠いところ、また来ていただいてどうもねー」と、笑顔で迎えていただきました。集会所をお借りして、1時間程住民の方々と話を交しながら昼食を取りました。

この時間を利用して、“ゆりりん愛護会”(名取市を拠点に、津波で被災した海岸防災林を再生させるために、宮城県沿岸部に植樹活動を続けている団体)の大橋会長にお越し願ひ、6回目となる森学からの支援金を贈呈させていただきました。

短時間の中で植樹活動の進捗状況や、震災の4月に“先祖が暮らした被災地を助けたい”との思いで義援金を送ったことから始まった、愛媛県伊方町名取地区との交流が続いていること。新たに始めた増田川流域での生物保存活動(海岸に生きるものたちのふれあいと助け合いの精神を“地域の宝”として、将来世代に伝えていきたいとの思いで始めた)等幅広く・積極的に取組まれている活動内容を時間ぎりぎりまで熱く語っていただきました。

この仮設住宅では、9世帯で同様の作業を行い、「普段やろうと思ひながら、なかなかできなかった所をきれいにしていただき、ありがとうねー」と喜んでいただきました。すると、この4年間3・8・12月には訪問し

12月13・14日、ひょうごボランティアプラザの43回目となる東北ボランティアバスの呼掛けに17名(初参加3名)が呼応し、宮城県東松島市・名取市・気仙沼市の仮設住宅や公営住宅で、

○13日(火)午前、東松島市宮小松南住宅

昨年に続いての訪問で、自治会長によると独り世帯が多く、予め普段手の届かない窓拭き・換気扇・蛍光灯・空調清拭等の要望を10世帯から

ていた近くの仮設住宅の役員が「今回来てくれないから、逢いに来たよ」と、訪ねてきました。また、この役員には作業終了後、閉上(ゆりあげ)地区の日和山にて、震災当時の自身や周りの生々しい様子を全員に聞かせていただき、「来年1月16・17日には、神戸に行くよ」と、再会をお願いして本日の活動を終了です。

○14日(水)、気仙沼市南郷公営住宅

バスで現場に近づくに

伴い、周りは見覚えのある光景でした。気仙沼湾に流れ込む大川沿いの当公営住宅は、3年前“南気仙沼小学校”の跡地に建設されたもので、5年前の5月に訪れていました。

その当時の小学校校庭には、全国から支援で入った自衛隊車両やボランティアバス等が所狭しに駐車していて、校門近くのプールには、ブイ等の大型漁具や加工場から流出したサンマで溢れていて、辺りには鼻を刺すような臭いが漂っていたことが思い出されました。

昨年に続き、一般社団法人(地元住民が中心となって、そこで生きる人たちの手による「ふるさとづくり」をより活性化することを目指している)の案内で、階段・廊下・



大橋会長に贈呈



防災林再生 仙台市荒浜

集会所等の共用スペースを中心に1時間余りの清掃を行いました。

終了後、当法人理事から震災当時の話しを聞かせていただき、ご自身が忘れてはならないと時々の実体験を書留めていて、機会ある度に語り続けているとのことでした。犠牲となった親族の話では、何度も何度も声を詰まらせながらも、しっかりとした口調で伝えていただきました。話の中で印象に残ったのが「津波が予想される場合は、遠くではなく、できるだけ高い場所に避難する。津波の速さは、陸地近くでは落ちるものの、時速36km(オリンピックの100m走程)を維持している。震災後でも津波注意報や警報が出ると車での避難が多く、渋滞で動きが取れない状況が繰り返されていることから、遠くに避難するのは現実的ではない」との部分でした。

今年は今回の活動が最後となりましたが、時の経過により必要とされる内容も移るが、人手が必要な事は続くので、主催者には今後も派遣を続けていただくよう切に願うしだいです。

全国育樹活動コンクール農林水産大臣賞受賞 兵庫県くすのき賞受賞記念祝賀会



受賞を機に、仲間を増やして市民の森づくりに励みましょう

12月21日 ホテル北野プラザ六甲荘に於いて、こうべ森の学校が平成28年度全国育樹活動コンクールにて農林水産大臣賞を、兵庫県知事からくすのき賞を受賞したことを記念して、祝賀会が開催されました。2003年に活動開始して以来、市民、行政、企業が手を結び継続して活動してきたことが高く評価されました。冒頭、こうべ森の発足当初

から継続して支援いただいている伊藤ハム株式会社に感謝状の贈呈をさせていただきました。祝賀会に駆けつけていただいた歴代の森林整備事務所所長はじめ、皆さんに苦勞したことや楽しかった思い出を語っていただきました。

こうべ森の学校誕生にまつわる話題など次号で披露させていただきます。

恒例 豚汁・ぜんざいのふるまい



心を込めて調理中

毎年恒例の豚汁(12月と2月の例会日)とぜんざい(1月の例会日)の提供がありました。

炊事当番の皆さんには寒い中ご苦勞をおかけしています。再度炭で焼いたお餅の美味しいこと、格別でした。ありがとうございました。今年も安全に無病息災で活動に励みましょう。



身体が温まります

寒波が到来



雪で樹形が浮き上がりました



掛かり枝を除去

年明けから寒波が到来し、再度公園内の水道管が凍結して故障するなどハプニングもありました。森では雪の重みで枝が落下し、途中で引っかかるなどしたため、除去作業をしました。

今年の活動を安全祈願



参加者19名で安全祈願

1月10日、今年一年の森学活動に安全祈願を行いました。

近藤さんの司会・進行、森谷さんの祝詔で執り行われ、敷地の四隅や付近の大木に清め塩と御神酒を



山の幸・海の幸をお供え



松にお神酒を

撒き、参加者19名は改めて“安全の二文字”を胸に刻みました。また、全員がこの一年間安全に活動を続けられるよう願いました。

■前々回・前回の報告

日付	参加者	司会	午後・森の手入れ	リース作り	木工工作	自然観察	苗づくり
12月18日(日)	70名	久保順一さん	12名	36名	—	4名	4名
1月14日(土)	52名	西 功さん	11名	—	5名	12名	5名

■東お多福山・草原保全再生研究会

1月24日(火) ホテル北野プラザ六甲荘にて、東お多福山草原保全・再生研究会の会議と新年懇親会が開催されました。かつての美しいススキの草原の再生を目指して今後も引き続きご協力のほど、よろしく願い申し上げます。次の活動日は3月22日(水)の予定です。



それぞれの想いを語り、楽しいひと時を過ごしました

お知らせ・掲示板

♠バスの運行

こうべ森の学校月例会には神戸市バス25系統(三宮～森林植物園)をご利用ください。三宮の乗り場はミント神戸1階三宮バスターミナルM4停留所、9時20分発のバスに乗れば、例会に間に合います。

運行日は4月～11月の土日祝日のみで、平日の運行はありませんので、ご注意ください。

また阪急バス61系統(神戸駅南口～鈴蘭台)は通年運行しております。神戸駅南口バス停9時発のバスに乗り、水源池バス停で下車して徒歩25分で、こうべ森の学校「風楽山荘」に到着します。

平成26年度から再度公園駐車場が無料開放されています。こちらもご利用ください。

♠こうべ森の小学校 & 森のようちえん

次回の開催予定日は3月26日(水)

(問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

編集後記 2月になると毎年口にしてるように思います。この寒さは昨年よりも今年の方がきびしいのではと。でも、春に咲き始める花々にとっては、とても大切な寒さと思えば、半袖、素足とはいえませんが少し心暖かくなります。手入れした山の中に、梅、桜、クロモジ、タムシバ、コブシ、ツツジと次々に。そんな風景が浮かんでいきます。待ち遠しいです。もうすぐ春ですよ。(H.F)

■神戸薬科大学尾根筋にヤマザクラを植樹

1月28日(土) ほくら～ととや森の世話人倶楽部主催の「第2回ヤマザクラ一斉植樹会」が開催されました。ヤマザクラ50本を神戸薬科大学～魚屋道にかけて植樹しました。森学から6名、パナソニックインパールの浅野さんはじめ多くの方に支援いただきました。



101名の方が参加しました

♠摩耶の森クラブ

次回の開催予定日程等については、神戸市森林整備事務所にお問い合わせください。

♠ボランティア保険に加入していますか

森の手入れの作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛け金は500円の負担で補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口はお住まいの市区町社会福祉協議会です。

会員活動の開催予定日

- ・月例会 3月11日(土)・4月16日(日)
- 午前中は全員で森の手入れを行います。午後は自然観察・木工・苗作り・森の手入れから選択をしていただきます。
- ・上記以外の火・木・土曜日も活動しています。

「こうべ森の学校」は、発足当初から物心両面にわたり伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて運営されています。



保久良神社の梅



ジョウビタキ(布引貯水池)